

[意思疎通を図るための活動1]

【ねらい】

友だちを（自分を）大切にする言葉を知り、それを使う心地よさを体験することで、これからのすごしかたを考えるきっかけとする。

【準備物】 大判用紙、人数分以上のカード（タックシール）

活動の内容	指導者として気をつけたいこと
<p>【活動1】</p> <p>「ぼかぼかことば集め」</p> <p>「言われてうれしい言葉」を視覚的にとらえる活動</p> <p>①指導者が大判用紙に大きくハート型を描く。</p> <p>②「ぼかぼかことば（言われてうれしい言葉・心が温かくなる言葉）」をカードに書き、型の中に貼る。</p> <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none">・友だちから言われてうれしかった言葉などを具体的に思い出させる。	<p>【ふりかえりの例】</p> <p>「ぼかぼかことばがたくさんある学級ってどんな学級になるだろうね」</p> <p>※ハート型に書かれた言葉は、今後の学級の約束、行動目標にする。</p>
<p>【活動2】</p> <p>「みんなおに」</p> <p>全員がおにになるおにごっこ</p> <ul style="list-style-type: none">・全員がおにで、誰をあててもよい。・あてられたらその場に座り動けない。・同時にあてたら、2人とも座る。 <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none">・活動前に、速さ（歩く程度）の確認をする。・危険防止のため両手を前に出し「バンパー」をつくる。・急に立ち止まったり、バックしたりしない。・数人が残っている状態で終了にする。	<p>【ふりかえりの例】</p> <p>「活動中、困ったことはなかった？」</p> <p>「早く当てられて座ったとき、どんな気持ちだった？」</p> <p>※活動中、「走る」などルールが守れないこと「あてた、あてられてない」などのエラー（トラブル）が起こることもある。このようなエラーこそ集団の成長のきっかけになる。</p>
<p>【活動3】</p> <p>「ぼかぼかおにごっこ」</p> <p>ぼかぼかことばを使ったみんなおに</p> <ul style="list-style-type: none">・みんなおにをする。・座った人に近づき「ぼかぼかことば」をかける。・「ぼかぼかことば」で元気が出たら、おにごっこに参加できる。 <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none">・ふりかえりの後、再度実施し、最初のぼかぼかおにごっこの違いを意識させることもできる。	<p>【ふりかえりの例】</p> <p>「どんなことばをかけてもらった？」</p> <p>「ぼかぼかことばをかけてもらったとき、どんな気持ちだった？」</p> <p>「ぼかぼかことばをかけてあげたとき、どんな気持ちだった？」</p> <p>※学級の状態を見て、「ハート型」に書かれていることを見直す必要がある。</p>